

全国育樹祭の弁当に

飛騨牛など J A全農岐阜が贈る
200万円相当



全国農業協同組合連合会本部は24日、第39回全国育樹祭（10月11日・揖斐郡揖斐川町）の協賛品として、飛騨牛や県産米などの

目録を手渡した後、感謝状を受け取った足立能夫運営委員会長（中）＝県庁

食材（200万円相当）を県実行委員会に贈った。

企業や団体を対象にした実行委の協賛制度の一環。食材は、飛騨牛190キ、県産米ハツシモ660キ、県産のナスやダイコンなど野菜70ケースで、県内外から訪れる式典参加者向けの弁当や前日の懇談会で使用する。

県庁で行われた贈呈式では、足立能夫運営委員会長が古田肇知事に目録を手渡し、「豊かで清らかな水があつて農業は成り立つ。岐阜の食材を全国の人に食べてほしい」と話していた。（河合修）